



写真で見る第12回学会大会

日本災害情報学会は、第12回学会大会（研究発表会、総会など・実行委員長：高橋智幸関西大学社会安全学部教授）を10月22日、23日の日程で、関西大学社会安全学部（高槻ミュージックキャンパス）で開催した。大会では過去最多73件の研究発表が行われ、213名が参加して活発な議論が展開された。また、大会二日目には、大会記念講演として住田功一氏（NHK大阪放送局）による「アーカイブスから語り継ぐ若者たちの阪神・淡路大震災ノート」を開催し、一般にも公開した。

10月22日（金）	受付開始	8時45分～	
	研究発表	9時35分～11時45分	A会場 B会場
	昼休み	11時45分～13時00分	
	研究発表	13時00分～18時15分	A会場 B会場
	懇親会	19時00分～21時00分	レストランMUSE
10月23日（土）	受付開始	8時30分～	
	研究発表	9時10分～11時50分	A会場 B会場
	昼休み	11時50分～13時00分	
	記念講演	13時00分～14時00分	ミュージックホール
	廣井賞授賞式・講演	14時15分～15時45分	ミュージックホール
	総会	16時00分～16時50分	ミュージックホール



全国各地から213名が高槻に！

写真で見る学会大会2010



研究発表 10月23日 [A, B2会場で開催]



廣井賞授賞式・記念講演[ミューズホール]

日本災害情報学会は 2006 年、初代会長の故廣井脩氏（元東京大学大学院教授）の志を後世に伝えるため廣井賞を創設し、4 回目の授与式を 10 月 23 日、学会大会席上で行った。

今年荣誉に輝いたのは下記の社会的功績分野 2 件及び学術的功績分野 1 名。

分野	受賞者	表彰理由
社会的功績(団体)	「FM ながおか」 長岡移動電話システム	大災害時、コミュニティ FM 放送局ならではのタイムリーな被災者支援放送を行い、その体験や教訓を踏まえた地域防災力強化につながる実践活動で、全国のコミュニティ FM 局の範となっている。
	「FM-salus」 横浜コミュニティ放送	6 年半にわたって防災専門家のインタビュー番組「サロン・ド・防災」を継続するなど、大都市域のコミュニティ FM 局として、平時における防災啓発の役割をよく果たしている。
学術的功績(個人)	北原糸子氏 立命館大学歴史都市防災センター教授、神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター主任研究員	近世・近代の貴重な史料を掘り起こし、災害文化を現代社会につなげる先駆的な学術研究を進められ、災害情報分野で顕著な功績をあげている。「けもの道」を進み、新たな研究分野を確立した氏の取り組み姿勢は、廣井脩先生の研究に対する精神そのものに合致する。





「FM ながおか」長岡移動電話システム」(脇屋雄介氏)



「「FM-salus」横浜コミュニティ放送」(寿乃田正人氏)



北原糸子氏

大会記念講演

住田功一氏 (NHK 大阪放送局)

「アーカイブスから語り継ぐ若者たちの阪神・淡路大震災ノート」



懇親会 [レストラン MUSE]



PHOTO by FUKUSHIMA , HADA , NAKAJIMA and KURODA